

平成24年度公開講座報告

「やってみてわかる！ 分析方法」

高知女子大学看護学会企画委員長 畦地 博子

平成24年10月27日（土）、平成24年11月10日（土）の2回にわたり、公開講座「やってみてわかる！ 分析方法」（高知県立大学協賛）を開催いたしました。

第1回「データの質的な分析」は、キンモクセイ香る高知県立大学永国寺キャンパスにて、講師に池添志乃（高知県立大学看護学部教授）・畦地博子（高知県立大学看護学部教授）、サポートに小笠原麻紀（高知大学医学部附属病院）・井上加奈子（訪問看護ステーション高知西）・森下安子（高知県立大学看護学部）で開催しました。参加者は35名、岡山や愛媛など県外の方



にもご参加いただきました。

講座では、“もしも私が「患者の語りが看護師にもたらす変化を明らかにする」という目的で研究をすすめたら…”と仮定し、計画を立てるプロセスを追い、その後インタビューし収集したデータをコード化、サブカテゴリー化していくことを体験しました。

参加していただいた方からは、「今まさにこれをやっているところ…勉強になりました」というご意見や「実際やってみるとなかなか難しいものですね」「分析は1日にしてはならずということがわかりました」、「続きも勉強したい」

「もっと時間が長かったらよかった」などのご意見をいただきました。

第2回「データの量的な分析」は、高知県立大学池キャンパスにて、講師に神原咲子（高知県立大学准教授）・川上理子（高知県立大学看護学部准教授）、サポートに寺岡美千代（高知大学医学部附属病院）・北村真由美（高知市保健所地域保健課）・升田茂章・坂元綾・畦地博子（高知県立大学看護学部）で開催しました。参加者は33名、愛媛など県外の方にもご参加いただきました。

講座では、基礎統計量を算出する方法や、F検定、t検定を実施する方法について、一人一台のパソコンを使って、実際のデータを用いながらエクセルで分析していくことを体験しました。

参加していただいた方からは、「統計は苦手でしたが、今日学んで勉強しようと思いました」「半日くらいかけてやってほしかった」「シリーズでやってほしい」などたくさんの「もっと学びたい!」というメッセージをいただきました。内容については「もっと基礎的なことから学びたい」「難しかった」という意見もみられました。

高知女子大学看護学会では、今後、より参加者の多様なニーズに応えられる企画を考え、地域の看護学の発展に寄与していきたいと思っております。

